



みどり

12月号

平成30年11月30日

調布市立緑ヶ丘小学校

校長 小嶺 大進

E-mail

midorigaoka-sho@chofu-schools.jp

みんな“思い通り”に生きている

校長 小嶺 大進

「心を一つに 笑顔で演じ切り 感動を届けよう」

先日、開催をいたしましたミドリシアターには、御来賓の皆様をはじめ、保護者・地域の皆様等、多くの方に御来校をいただきました。子供たちへの温かい励ましの御言葉と拍手、本当にありがとうございました。特に、保護者の皆様には、衣装の準備等、何かと御協力をいただくことが多くございました。重ねて心より感謝申し上げます。

台詞を間違えないように必死に伝えている姿、台詞を言っていないときの動きや表情、精一杯の歌やダンス等、御来場をいただきました皆様には、全力で演技をする子供たちの様子を御覧いただけたのではないかと思います。演技だけではなく、舞台に向かってスポットライトや照明を当てている子供、場面に合せてピアノ伴奏をする子供等、目立たないところでしっかりと役割を果たす姿もミドリシアターの魅力です。そして、最後の6年生の御礼の言葉も見事でした。とても長い言葉をメモなしで思いを伝えている姿に成長を感じました。演技以外でも、かなり努力をしてくれたのだと思います。皆様から、ミドリシアターに対する温かい励ましや高評価をいただきました。感想を見ていて本当に大成功だったと実感しています。逆にスマートフォンのライトを点けたままでの撮影、観覧席の入替等、大人のマナーに関する御指摘もいただきました。

先日の全校朝会で、子供たちにミドリシアターの話をしました。「みんな一人一人が、見てくださっている人たちに、練習してきた成果を見せよう、感動を届けよう。そういうことを心に思っただけで頑張ったから、感動を届けられたんだよ。心に思っていることは目には見えないけど、目には見えない心こそが一番大切で、心に思ったことが行動に表れるんだよ。」と伝えました。例えば、口では“仲良くしようね”と言っているけど、心の中で“仲良くなんてできない。そんなの無理”と思っていたら、絶対に仲良くなれる訳がありません。少し話が飛躍してしまうかもしれませんが、人間は不思議なもので、自分が嫌だな苦手だなと思う人がいたりすると、どういふ訳かその人によく会ったり関わったりしなければいけないことがあります。心で意識してしまうからでしょうね。嫌だな苦手だな（もちろん逆の場合も）と思った瞬間に意識がそこに向かって、自分のアンテナに引っかかるのだと思います。だから目に見えない心が大切だよと子供たちに伝えたかったのです。以前、ある方から「人間は“思い通り”に生きている。」という話を聞きました。どんなに辛いことがあっても粘り強く生きようと心掛けている人は、辛いことを乗り越える生き方をしている。いつも悲しい、辛い、面倒だ、あの人が悪いと愚痴を抱えている人は、他人の悪いところばかりを見て嘆く人生を送っている。そういう意味では、心に思っただけの人生をみんな送っているという話でした。

子供たちの心を育てていくことが学校教育の使命です。ミドリシアターに限らず、授業や行事等の一つ一つを大切に活動してまいります。

～パンジー・チューリップ植栽～ 緑ヶ丘・仙川まちづくり協議会

11月18日（日）、まちづくり協議会の皆様
が南門学校園に、パンジーとチューリップ（球
根）を植えてくださいました。先日の児童朝会で
子供たちに紹介をしました。美しい花が咲き薫る
日を楽しみにしています。

～緑ヶ丘小学校親子そば体験～ 健全育成推進緑ヶ丘地区委員会

11月24日（土）、健全育成委員会主催の親
子そば体験で、脱穀の作業をしました。これまで
種まきや刈り取り等の作業を進めてきました。
12月の粉ひき、そば打ち。子供たちもおいしい
おそばを食べるのを楽しみにしているようです。

ミドリシアター特別号

心を一つに 笑顔で演じ切り 感動を届けよう

一人ひとりがキラリと光っていたミドリシアター。子供たちの感想を集めてみました。心のこもった感想用紙は各学年の廊下に掲示してあります。ご来校の際ぜひご覧ください。

1年 えんそくにいくんだ!

- ・れんしゅうしたから ゆう気がわいたし、ワクワクしたからがんばれました。
- ・おきゃくさんをわらわせることができてよかったです。
- ・パレードのとき、にこにこえがおで おどったら、おもったいじょうに たのしくなって ノリノリでおどれました。
- ・さいしょはドキドキしたけど、ゆう気がわいてきて、大きな声が出せました。
- ・えんそくちゅうにしりとりをしたり、にんげんとかみなりとが こわがりあったりするところが、えんじているじぶんたちも おもしろかったです。



2年 17ひきのねことウヒアハ

- ・「全力でジャンプをする。」という目ひょうをもってえんじた魚のシーンでは、目ひょう通りジャンプすることができました。
- ・れんしゅうの時にわらってしまっってむずかしかったつかまるシーンを、本番でしっかりいやな顔をすることができ、よかったです。
- ・さいしょは思い通りにえんじることができませんでした。本番は、うまくえんじることができてよかったです。
- ・れんしゅうはとても大へんだったけど、本番では、れんしゅうのせいかをはっきできたのでよかったです。
- ・台本を読みこみ、れんしゅうをがんばったので、せいこうさせることができてよかったです。



3年 海ぞくたちと宝島

- ・フクロウがおどかすところをがんばりました。ミドリシアターを楽しくできてうれしかったです。
- ・ゴリラだけ笑われていやだと思わなくて良かったです。大成功!!
- ・ミドリシアターが初めてなのにみんなががんばってできたと思いました。
- ・海ぞくのダンスがうまくいったのでよかったです。
- ・ゴリラの役で、みんながわらっていたので、がんばったしょうこだと思いました。
- ・大きな声でセリフが言えて、うれしかったです。えんじると、本当にすてきなんだなと思いました。
- ・かいそくとゴリラさんのところが、すごかったです。わたしは、思わすぶたいそでわらってしまいました。
- ・みんななかよくできて、よかったです。



4年 おばけじそう

- ・色々な先生色々な人みんなたくさん応援してくれた本番きんちょうしてドキドキして わくわくして色々な気持ちがあった学芸会
- ・じそうじそう 動いちゃだめだ かゆいかゆい どうしようせきせきせき どうしよう でもがんばろうじそうじそう がんばろう 心の中で エイエイオー
- ・最後のミドリシアター えいえいおう みんなにこにこ みんなグラグラ最後まで役に成り切った 目標達成 みんな笑った 楽しかったミドリシアター
- ・スポットライトを担当しました。うまく出来たと思ったのは、舞台からコーラス隊に当てるときです。素早く動かすことが出来たからです。その後、後半の人と入れ替わるときに出番が近かったので急いで階段をかけ下りました。そしたらざりざり間に合いました。そして最後の歌の時に、思いっきり歌えてすっきりしました。

5年 人間になりたがった猫

- ・今まで練習してきた成果をすべて出しきれてよかったです。みんなで協力して劇をするのがこんなに楽しいとは知らなかったです。小学校最後のミドリシアターが、悔いなく終わってよかったです。
- ・2年生ではじめて劇をやった時より成長したと思います。1人1人が恥ずかしがらずにセリフを言えたり、声も大きく出せたりと小学校最後のミドリシアターは成功したなと思いました。
- ・スポットライトが完璧にできて嬉しかったです。
- ・保護者鑑賞日はいつも以上に歌をみんなで大きな声で歌えて思い出に残るミドリシアターになったので良かったです。
- ・平成「最後」小学校「最後」とても一生懸命悔いのないように演じられたと思います。これからも仲の良い5年生で、色々な行事を作りあげていきたいです。
- ・みんなが力を合わせて演技していたので見ている人に感動を届けられたと思います。

6年 しあわせの島

- ・今回の学芸会を通して、私は、みんなで何かをする時には、話し合いがとても大切だと感じました。実行委員を中心に、よかったところや改善するところなどを話し合っ、次回につなげたことは劇の成功にとっても重要なことだと思いました。
- ・本番前に円陣を組んだことで気持ちが盛り上がり、演技がしやすくなりました。また、自分たちの伝えたいことが見ている人に分かってもらえていると感じた時は、うれしくて印象に残っています。
- ・本番で舞台から家族の姿を見つけたときに、ほっと緊張が解けてがんばれました。最後の歌では、「これでまた一つ大きな行事が終わっていくんだ…」と感じ、精一杯声を出して歌いました。
- ・一人一人が役になりきり、舞台上がっている人はもちろん、舞台袖にいる人も、照明担当の人も、心を一つにして演じきったミドリシアターでした。

12月行事予定

調布市いのちと心の教育月間

日	曜日	行事予定
1	土	
2	日	
3	月	クラブ活動、いのちと心の教育月間
4	火	安全指導、ミドリタイム
5	水	連合音楽会(5)午後
6	木	命の授業公開、保護者会(1~3)
7	金	人権集会、命の授業公開、保護者会(4~6)
8	土	土曜授業日
9	日	
10	月	
11	火	ミドリタイム、読み聞かせ(1)①②
12	水	たてわり班活動、避難訓練
13	木	
14	金	ペースランニング終
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	さわやかタイム(2、5)、ミドリタイム
19	水	
20	木	
21	金	給食終、大掃除5校時
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休業日
25	火	終業式
26	水	冬季休業日(1月7日まで)

調布市では、生命尊重を基盤とした教育活動の充実を図るため、特に12月を「いのちと心の教育月間」と定めて、自他の生命(いのち)を大切にしている教育活動を行います。

本校でも、12月3日(月)の児童朝会では、校長が子供たちに対して「自他の生命(いのち)を大切にしている人間になろう」という講話を行います。また、各クラスでも一人一人の違いを認め合う学級指導を行い、6日(木)・7日(金)の5校時には「いのちの尊さや一人一人がかけがえのない大切な存在であること」を学ぶ学習の授業公開を実施いたします。給食時には、いのちと心の教育の歌「種」を流します。

ぜひ、ご参観いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。なお、その後に保護者会を予定しています。

3学期始業式についてのお知らせ

1月 8日(火) 始業式

持ち物：あゆみ、上履き、連絡帳、筆記用具、防災頭巾など

1月 9日(水) 給食開始



* 12月の生活目標 *

『 相手を思いやって生活しよう 』



12月10日「世界人権デー」に合わせ、日本では12月4日から12月10日までを「人権週間」としています。平成30年度の「第70回人権週間」の啓発活動重点目標は「みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～」となっています。各県や自治体ではそれに合わせ様々な取り組みを行っています。調布市のいのちと心の教育月間の取り組みと共に、本校では次のような取り組みを行っています。

- ・児童の発達段階に応じて各学級で「生命尊重」に関する授業(道徳や学級活動など)を行う。
- ・児童集会で人権集会を行う。その後、児童一人一人に「人権を守るためにやっていきたいこと」を考えさせる。
- ※児童が書いた人権に関するカードを、学年ごとに台紙にまとめ、職員室前に掲示します。

世界中で「人権尊重」が訴えられ続け、「人権尊重教育の推進」が東京都の教育課題であるとも言われています。それらは裏返すと、人権を尊重されていない人がいるということを証明しているように思われます。「人権(または人権侵害)」のことを学ぶことにより、自分(たち)がすべきことを考え、行動できる、そんな子供たちを育てたいと考えます。そこで、12月の生活目標を「相手を思いやって生活しよう」と設定し、上記の取り組みを通して「人権」について考えていけるようにしたいと思います。